

# 30年度 授業の様子

2018年11月29日(木)授業紹介



5-3の金子太郎教諭の算数の授業「四角形と三角形の面積」の単元でした。今日はひし形の面積を求める課題です。新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」を意識した先進的な授業でした。

教室の中には子どもと一緒に考えたであろう言葉と共に今までの学習が掲示されています。学んだことを手掛かりに自力解決をしていきます。面積では多くの解き方がありません。できるだけたくさんの解き方を見つけようと夢中になっていました。自分の解き方を隣り同士で説明した後、一つずつ席を移動してもう一度説明をします。これを5回、列の分だけ繰り返しました。少なくとも5人には説明をしたこととなります。(これは機会が増えただけでなく機械的に色々な男女でペアを組むことになり、学級の雰囲気作りにも役立っています。)その後の全体での発表では友だちの書いた面積図を他の児童が発表します。ここでは若干挙手する児童が限定されてしまいましたが、今日のような授業を続けることで主体的な学習が身につくのだと思います。

教師ではなく、児童が話す時間をたくさん取ることをねらった授業でした。ありがとうございました。

## 2018年11月9日(金)授業紹介



少し前になりますが、11月8日に6年2組の皆川教諭の体育の授業を参観しました。「0.1秒を絞り出せ！団結リレー」という単元でした。準備運動では「身体が痛くなるまで」慣れの運動では「地面をける動き」「腕の振り方」などポイントが的確に示されます。子どもを集め、動きの上手だった子、集合が早かった子など名前を呼んで次々と評価していきます。呼ばれた子は赤帽子に変えていきます。意欲を高める工夫です。「ねことねずみ」というタッチゲームを取り入れ運動量を確保していました。

ボードを使い大きな目当て「バトンパスで減速しない」今日の目標「正しい姿勢でバトンを受けよう」を説明しました。その後チームで歩きながらバトンパスの練習をします。段々小走り程度までスピードを上げていきます。この練習がすこし中だるみしてしまいましたがチーム意識を育て、自主性を育てていこうとする教師の願いを感じました。

練習が進むにつれ、自分たちで練習ができるようになってほしいものです。やることと目当てがはっきりしたさすが体育主任の体育の授業でした。ありがとうございました。

## 2018年10月18日(金)授業紹介



2年2組高橋教諭の国語の授業です。お話の続きを書こう。「わにのおじいさんのたからもの」という物語単元です。「おにの子」と「わにのおじいさん」が登場します。2人の性格を読み取り、前の時間までに班ごとに質問を考えました。例えば「わにのおじいさんは大切な宝物をどうしておにの子にあげたのでしょうか。」等でした。今日は各班の考えた質問に別の班が答えます。2年生にとって班で回答をまとめるのは難しいのではないかと思いましたが、それぞれの意見を苦労しながらまとめていました。友だち同士で話し合うアクティブラーニングの時間でした。

高橋教諭はテンポ良く授業を進めていきます。前の授業で学習したことを振り返る時間、個人で考え、答えを書く時間、班ごとに話合う時間、役割演技で発表する時間、今日の学習を振り返る時間でした。発表ではおにやわにのお面を用意し、なりきらせるなどの工夫で子どもの集中が途切れることはありませんでした。指示が明確で子どもが考えやすく、答えやすい授業でした。ありがとうございました。

## 2018年9月27(木)授業紹介



1年2組の正野教諭の国語の授業でした。「だれが食べたのでしょうか。」という説明文の学習です。説明文ですから問いの文「だれが食べたのでしょうか」と答えの文「〇〇が食べたのです。」をはっきりと理解させます。今日は「むささび」が食べるのですが、今まで1つだった食べ方の説明が2つに増します。穴埋め式のワークシートを配り考えを整理させ、ワークシートと同じ文を黒板に書きます。子どもは黒板と同じ言葉をワークシートに書けば良いだけですがそれでも子どもは戸惑ってしまいます。アシスタントの先生と協力して全員に丸をつけて回ります。

今日は子どもの興味を高めるために一人ひとりに桜の葉を配り、ムササビがどうやって葉を食べたのかを想像させたり、テレビ画面にムササビの写真を写したりしていました。全員を集中させ、全員に理解して欲しいという願いの伝わる授業でした。ありがとうございました。

## 2018年9月27(木)授業紹介



1年1組船津教諭の音楽の授業を拝見しました。随所に子どものやる気を引き出す言葉が入り、子ども達はどんどん乗って、時間が短く感じた楽しい授業でした。最初は鍵盤ハーモニカです。「あのね」を練習します。最初は指だけ(吹かない)ですので「まだ触らないでね」「くわえてると音が出ちゃうよ」と事前の注意を入れておきます。「先生が音を出すからドレミで当ててね。」ド ド ファ シ レ ソ「大正解!」「耳がいいね」「いい音を聞くと耳がどんどん良くなるよ」その後自分で作ったメロディをみんなで当てる活動を行います。「鍵盤ハーモニカは終わりです。誰が片づけ上手かな」と片付けにも動機付けです。

今度は歌の練習です。「ドレミの歌」です。「ここから早くなるよがんばって」「きれいな声で歌って下さい。」「みんな上手だからもう一つ教えちゃおうかな。」「挑戦する?合わせてみる?」船津教諭はずっと笑顔で歌っています。子ども達も自然と身体が動き出すメリハリのある、教師の言葉かけの大切さを感じた授業でした。ありがとうございました。

## 2018年9月26(水)授業紹介



1年3組の臼井教諭の道徳の授業を参観しました。「ダメ!」という教材です。りす君が給食の最後に食べようと思っていたプリンをくま君に「手伝ってあげるよ」と言われ食べられてしまうというお話でした。りす君は大変残念がり、「ダメ!」といえなかった自分の弱さと向き合います。翌日、自分の気持ちをくま君に伝え、謝ってもらい仲良く給食を食べるというお話です。1年生にどこまで深く考えさせられるのか興味をもって参観しました。

臼井教諭は最初に1年3組の給食の様子の写真を見せます。列に割り込んでくる友だち、他人の給食に触ろうとする友だち(もちろんやらせで撮ったものです。)の写真をテレビで見せて「こんなことされたらどう?」と問います。当然「嫌だ!」と答えます。「みんなはこんな時やめると言えるかな」と教材に導入していきました。子ども達はりす君に寄り添って様々な場面で発言しました。臼井先生は役割演技(くま君とりす君になりきって台詞を言う)を取り入れ、くま君に自分の気持ちを伝えられたときのりす君の素晴らしさ、気持ちよさを味わわせます。体験や、実感を重視した担任の思いが伝わる授業でした。ありがとうございました。

## 2018年9月25(火)授業紹介



3年2組の才木教諭の国語の授業です。「わすれられないおくりもの」でした。今日のめあては「森の動物たちの語り合いを音読で表現して『わすれられないおくりもの』について考えよう。でした。

前の時間までの学習で、あなぐまさんの残した『わすれられないおくりもの』が知恵や工夫、思い出である事を子ども達はもう概ね理解しています。ただ、それを頭でなく、実感として感じさせ、思い出の語り合いの中でどんな気持ちになったのかを考えさせたいと担任は考えました。

教室は狭いのですが、4人から5人のグループを9つ作り、どの子も登場人物になりきって思い出を語る場を作ります。

ワークシートには「自分がしんでしまった後、少しでもみんなが悲しまないよう嬉しかった思い出をあなぐまさんは作ってくれたんだと思います。」「ゲームやおもちゃじゃなくても一緒にいる思い出も『わすれられないおくりもの』になるんだなあと思いました。」「森の動物があなぐまさんに教えてもらってできた時のうれしさを語り合ったときのほっとした気持ちも『わすれられないおくりもの』だと思います。」などと書かれました。

子ども達が深く考えることを意識した素晴らしい授業でした。ありがとうございました。

## 2018年9月14日(金)授業紹介



2年1組の村山教諭の算数の授業です。紹介するのが算数ばかりになってしまって申し訳ありません。あいさつは「静かに」という指示ではなく、気づいた子ども達が黙ってグーの手を上げるところから始まります。周囲の子ども達が次々とグーの手を上げ段々と静かになります。時間は少しかかりますが、自分で気づいて行動することを教えていきます。

今日は $146 - 89$ の計算です。2回繰り下がりがある引き算です。一の位から始めること、繰り下げた十の位が1減っていることを忘れず百の位から繰り下げることが必要です。簡単な様で2年生には難しい問題です。村山教諭は全員に理解させようと実物投影機(OHC)を使ってノート書き方を指導したり、プリントを用意して貼らせたりと工夫をしていました。アクティブラーニングを意識して、隣り同士で解き方を説明し合ったりもさせていました。ありがとうございました。



## 2018年9月6日(木)授業紹介



2学期初めは3年1組朝比奈教諭の算数の授業を参観させていただきました。千万までの「大きな数」の学習です。朝比奈教諭は「あるものを貼るので見てください」と言ってピンク、黄色、水色、緑の短冊を貼っていきます。それだけで子ども達は集中し、「解った。」とか「一、十、百、千」とか活発に発言します。同じ色の並びで万の位もあらわしていくと子ども達は「一万、十万、百万、千万」で「一、十、百、千」は同じだと気づいていきます。すかさず朝比奈教諭は「3年生では教えないけど、この上の位も教えちゃおうかなーと言います。子どもは「知りたい、知りたい」とノリノリです。億の位も教えて、「みんな同じ一、十、百、千の繰り返しですね。「算数なんて簡単だね。怖くないね。」と続きます。随所に子どものやる気を引き出す言葉が入る授業でした。ありがとうございました。

## 2018年7月5日(木)授業紹介



4年1組 永井教諭の社会科の授業です。4年生は、ゴミについて学習してきました。今日は実際に自分たちに何ができるか考えていく授業です。「ごみを減らそう子ども会議」と題して班で話し合い活動をする「アクティブラーニング」を意識した授業です。

永井学級は学習規律がしっかりしています。聞くとき、話すとき、話し合うときなどしっかりとけじめが付いています。また、落ち着いた雰囲気ので学習するので学習内容の理解も高いと思いました。班で話し合いをしているときに永井教諭はぐるぐると班を回って話しかけます。そうすることで当事者意識を持たせ、児童の集中力を高めていきます。「話し合える児童」「積極的に行動する児童」を育てたいのだと分かる授業でした。ありがとうございました。

## 2018年6月19日(火)授業紹介



5年1組倉橋教諭の算数「小数のわり算」の授業です。スピード感、リズム感のある授業でした。チャイムと同時に問題を貼り、「分かっていること、もとめることはなんですか?」「式とわけを考えてください。」「できそう?」「3分で書いてください」「書けた人は課題を考えて下さい。」「テンポよく指示が飛びます。課題を板書。「小数のあまりの出し方を考えよう」「7分で自分で解き方を考えましょう。」時間を与えたらとにかく机の間を回ります。回りながら個別に話をしていきます。「あまりが大きすぎるの?」など子どもをつぶやきを大きな声で繰り返します。すると大きなあまりを出した子が自然と相談を始めます。皆が考え続けた45分間でした。ありがとうございました。

## 2018年6月18日(月)授業紹介



授業にお邪魔しました。6年1組 原田教諭の国語「複数の意味を持つ漢字」の授業です。先日参観した中学の授業の様子を話して子どもの気持ちを引きつけます。中学の授業では書く量が多く、黒板も書いては消して、また書くということで、集中力とある程度の書くスピードが必要との事でした。

はっきりした声で、実物投影機を使っの授業でした。「象」という漢字は動物の「ゾウ」からできた漢字で「ものの形」や「かたどる」という複数の意味を持っています。その後辞書を使って「布」や「針」の意味を調べさせます。プリントを用意し、辞書を引く時間を作り出すなど、工夫された授業でした。